

ゆい育成だより

令和4年(2022年) 11月21日(月) 第138号

最新情報はホームページより発信しています。QRコードをスマホで読むか 地子連

由井第一地区子ども会育成団体連絡協議会(由井第一地区 地子連)



創立60周年を迎えて

由井第一地区地子連会長 酒井 敬夫

由井第一地区地子連は、今年度で創立60周年を迎える事ができました。これも常日頃から地域の皆様方の温かいご指導とご支援による賜物であり、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスへの対策も定常化し、徐々にではありますが元の生活に戻り始めている中、令和4年度は、サブリーダー研修会を再開しました。この数年で子ども達の様子が変わり始めている事は感じつつも、集団活動や遊びを通して色々なことを学んでほしいという気持ちは、60年間受け継がれています。今年度も社会情勢に留意しながら、新しい事にも挑戦しつつ活動を行って参りますので、引き続きよろしくお願いたします。



ドッチビー VS ニュースポーツ大会 由井第一地区地子連副会長 溝口 真理子

4月30日(土)に由井東地区青少対と共催によるドッチビー大会を3年ぶりに長沼小学校の体育館で行いました。今年度は新しい試みとして、ニュースポーツの「ボッチャ」と「モルック」も行いました。



ボッチャは、2チームに分かれて、交互に皮製ボールを投げ、白い的球にどれだけ近づけられるかを競います。一投毎に変わる状況に頭を悩ませながら重たいボールを真剣に投げる子ども達の様子が印象的でした。一方、モルックは木製の棒を使って12本の木製のピンを倒します。ピンには1~12の数字が書いてあり、倒した

たピンの合計点が30点(正式には50点)丁度を狙います。ルールはシンプルながらも、着実に加点を狙う子もいれば一発逆転を狙う子もいたり、低学年の子達にも大人気でした。



ペットボトルロケットに挑戦 由井第一小学校PTAサークル オヤジの学校校長 村田 良

6月25日(土)に由井第一小学校にてペットボトルロケット作りを行いました。オヤジの学校では昔から定番イベントであり、圧縮空気と水を入れた500mlの炭酸飲料のペットボトルを飛ばして飛距離を競



います。真っ直ぐ飛ばす為には、胴体や羽をバランス良く作成しないと難しいところですが、うまく出来上がれば校庭の端から端まで飛ばす事ができます。自分で一生懸命作りあげたロケットが空高く飛んでいく様子を見て喜ぶ参加者の方々の笑顔が印象的でした。(サブリーダー研修生が創作活動として参加しました。)

ロケットが飛ぶ原理も学びながら自分で作って飛ばします。



**サブリーダー研修会
真夏の野外活動**
由井第一地区地子連事業担当
山本 清美

地子連においては、子ども達が伸び伸びと地域で活動できるように行事を盛り上げるサブリーダー(子ども会リーダー)の養成をしています。1年を通じて開催されるサブリーダー研修会の中でも、一泊

二日で親元を離れて様々な体験を行う夏の野外活動は一大イベントになっています。今年度は7月23日(土)から研修生9名と檜原村の山荘で行いました。公共機関で目的地に向かう道中では心躍る子ども達を抑えながら無事到着。昼食が終わるや否や雷雨に見舞われ山の天候の移ろいやすさを体験。トーチ棒作りで一汗かいた頃には雨も上がり夕食作りを始めました。マッチすら初めて見る子ども達が火おこしから飯盒炊さんに挑戦。悪戦苦闘の末に立ち上がった火に夢中になりながら自分達で作ったカレーライスが格別の味わいです。お片付けが終わる頃には日も落ちて、キャンプファイヤーを囲んで歌ったり踊ったりとレクリエーションを楽しみました。二日目は気温も上がり、山荘の下に流れる小川でお待ちかねの川遊び。あまりの気持ち良さに大人達も一緒に大はしゃぎ。

子ども達にとって日常では得られない体験が自信に繋がり、前日よりも逞しい顔になって地元に戻ってきた彼らを見ると、私達のやり甲斐に繋がります。

令和4年度サブリーダー研修会	
6/11	開講式
6/25	ペットボトルロケット作り(創作活動)
7/10	野外活動事前研修会
7/23	野外活動(キャンプ)
11/03	市子連行事参加
11/26	クリスマス研修会
2/11	閉講式・認定式



火起こしも飯盒炊さんも全部初めて。



みんなで作ったカレーは格別。



片付けもみんなで頑張りました。



仲間と力を合わせたトーチ棒作り。



お天気にも恵まれて川遊びも爽快。



ファイヤーで友情を讃え合います。



時折、猿の親子も通り過ぎる山荘で夏の良い思い出が出来ました。

